

第6回経営ビジョン策定検討部会 議事録

日 時 平成29年12月13日（水） 午後5時30分から午後7時30分まで

場 所 京都市上下水道局本庁舎 別館1階大会議室

出席者（本市職員を除き五十音順，敬称略）

1 委員

神子 直之 立命館大学教授（理工学部）
小林 千春 同志社大学教授（経済学部）
小林 由香 税理士
中嶋 節子 京都大学教授（大学院人間・環境学研究科）
西村 文武 京都大学准教授（大学院工学研究科）
江渕 史明 京都市上下水道局総務部経営ビジョン策定・防災担当部長

2 京都市上下水道局

総務部経営政策担当部長，総務部総務課長，総務部経営企画課長，
総務部職員課人材育成担当課長，総務部経理課長，
総務部お客さまサービス推進室業務管理担当課長，技術監理室監理課長，
技術監理室監理課担当課長，水道部管理課担当課長，下水道部計画課長，
事務局（総務部経営企画課）

次 第

1 開 会

- (1) 出席者確認
- (2) 進行の確認，会議の公開について

2 議 題

次期経営ビジョン及び中期経営プラン骨子案について

3 閉 会

内 容（議題に係る主な意見）

1 次期経営ビジョン骨子案に係る市民意見募集結果（別紙1）への意見

- p12「市民協働の観点がよく分からない」やp14「一緒に担うために市民はどうすればいいのか教えて欲しい」といった市民からの意見があるが，それに対して，上下水道局からのメッセージが書かれていないように思う。

2 次期経営ビジョン及び中期経営プラン骨子案（別紙2）への意見

骨子案の全体に係る意見

- 冊子にする際の要望として、「初期ダクタイル鋳鉄管」や「合流式下水道の改善」などの専門用語については、数値を上げると市民にどう影響があるのかも含めて、用語の説明を記載してほしい。
- 個々の方針・取組を書くだけでなく、各方針・取組の連携による相乗効果についても、連携図などを作成してみてはどうか。
- 個々の取組を別に書くだけでなく、水の循環図のようなイラストを掲載してはどうか。

p6～15に係る意見

- 「主な目標」は今記載のある内容でよいのか。例えば、p15は積立金だけでよいのか、p13の疏水記念館の来館者数は10年間で1万人の増加は少ない印象を受けるがこれでよいのかなど。
- p6～15について、「この取組を行うと市民のみなさまにこういう効果があります」という記載があると分かりやすいのではないか。
- 「主な目標」について、数字を大きくして目立たせてはどうか。
- p11の調査・研究について、新たな取組で街を活性化できるようなワクワクできる、市民がハッとするような取組があれば記載してはどうか。
- p11の国際協力事業について、水ビジネスとして展開できる形を目指している、日本が水を通じて何かサポートできることがあるということをビジョンに示せれば職員のやる気が高まるのではないか。
- p13で、疏水記念館の来客数を増やす目標を立てているが、数だけでなく、例えば教育機関と連携をするなどすれば、長期的には発展的なことが出てくる可能性もあるのではないか。
- 経営の厳しさをアピールするためには、p14に記載のある「市民向け講座」を活用して経営の話などもしていったらどうか。
- p15の「主な目標」「下水道の大規模更新に備えた積立金」について、唐突感があるので、この項目に出てくる必要性を文言として入れた方がよい。また、なぜ200億円なのか説明をした方がよいのではないか。
- p15の「主な目標」について、経営評価などを見てもっと他にも掲載できる指標があるように思う（企業債残高の削減など）ので、追加してはどうか。

p16～20（財政の見通し）に係る意見

- p16の3（2）の公共下水道事業の建設改良費の推移のグラフについて、45年前と同じ事業費が必要と仮定して、今後の推移を記載しているが、物価変動を考慮したグラフにした方がよいのではないか。
- 一般の市民にとって水需要の減少と料金収入が減ることが結びつかないと思うのでビジョンに記載した方がよい。
- p17以降の5箇年の取組が10年後のビジョンにつながっていかない。将来的に値上げの可能性もあるのであれば、どういう書き方をすべきかももう少し検討した方がいいのではないか。

- 京都市の人口は今後減少していくと推計されているが、区によって傾向が大きく異なっている。その点を考慮して、重点的に投資するところと維持するところでメリハリが必要なのではないかな。
- 財政に関わるグラフについて、水量とお金が混在すると見にくくなるので、工夫をしてほしい。

その他の意見

- レジリエンスは大きなキーワードになっているので、初めの方に入れてもよいのではないかな。
- (以 上)